

自校の調査結果をチェックしましょう！

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、「3つの見届ける」を徹底しましょう。

《自校の課題として取り上げたい問題》

平均正答率 県 (%) 自校 (%)

★課題となっていることの要因や背景

1 児童生徒の実態から

2 教師の指導から

☆指導上の改善点（見届けるの徹底を図るための場や方途）

社会の授業では、

【平成 26、27 年度岐阜県における児童生徒の学習状況調査の設問と同一、類似問題の正答率】（社会）

問題番号	平成 28 年度県学習状況調査			平成 27 年度県学習状況調査			平成 26 年度県学習状況調査		
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県	問題番号	自校	県
小 4	[3] 1 図が示している内容にあった題名を付けることができる。 [H27 同一]	%	91.7%	[3] 1	%	88.8%			
	[3] 2 水を大切に使うために、自分ができることについて考えることができる。 [H27 同一]	%	85.9%	[3] 3	%	76.4%			
	[5] 1 ごみの「分別」ということばの意味を理解している。 [H26、27 同一]	%	78.3%	[4] 2	%	71.7%	[4] 2	%	52.9%
小 5	[2] 4 雨温図から、日本海側の気候の特色を読み取ることができる。 [H27 同一]	%	48.1%	[2] 4	%	43.9%			
	[3] 4 食料自給率が低いことにかかわる問題点について考えることができる。 [H27 同一、H26 類似]	%	60.4%	[3] 3	%	49.6%	[3] 3	%	31.6%
	[4] 1 地図から、豊田市を中心に愛知県内に自動車会社の工場や自動車の関連工場が多くあることを読み取ることができる。 [H27 同一]	%	76.9%	[4] 1	%	72.6%			
中 2	[1] 1 経度をもとにして、日本とニューヨークの時差を求めることができる。 [H26、27 類似]	%	46.9%	[1] 2	%	46.5%	[1] 2	%	45.7%
	[3] 1 各時代の政治の中心地の位置を地図から選ぶことができる。 [H27 同一、H26 類似]	%	66.3%	[2] 1 (2)	%	63.2%	[2] 1 (2)	%	62.6%
	[3] 2 「世紀」のあらわし方について理解している。 [H26、27 同一]	%	53.1%	[2] 3 (4)	%	51.4%	[2] 3 (3)	%	48.2%

平成 28 年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査 《社会》

概要

小学校第 4 学年	小学校第 5 学年	中学校第 2 学年
県平均正答率 77.9%	県平均正答率 69.4%	県平均正答率 57.9%
A 問題 79.6%	A 問題 66.9%	A 問題 60.0%
B 問題 76.1%	B 問題 73.8%	B 問題 54.7%
自校平均正答率 []%	自校平均正答率 []%	自校平均正答率 []%
A 問題 []%	A 問題 []%	A 問題 []%
B 問題 []%	B 問題 []%	B 問題 []%

こんな成果がみられました

<小学校>

◆第 4 学年では「学習したことを日常生活につなげて考えること」、第 5 学年では「生産者と消費者の願いを関わらせて考えること」について、改善がみられました。

■H27 指導改善資料 平成 28 年 3 月
＜指導改善のポイント＞
「社会的事象の特色や事象間の関連を説明できるようにする指導」

■平成 28 年度 県学習状況調査の結果から

- ◆小学校第 4 学年
 - [3] 2 「水を大切に使うために、自分ができることについて考えることができる。」
県 85.9% 自校 %
- ◆小学校第 5 学年
 - [4] 2 「消費者の注文に合わせた自動車を正確に生産していることについて考えることができる。」
県 71.1% 自校 %

■過去の同一問題の結果から

- ◆小・4 年 H27 県学調 [3] 3 (上記 H28 [3] 2 と同一)
県 76.4% 自校 %
- ◆小・5 年 H27 県学調 [4] 4 (上記 H28 [4] 2 と同一)
県 67.9% 自校 %

<中学校>

◆「地図や年表を読み取ることや活用すること」について、改善がみられました。

■H27 指導改善資料 平成 28 年 3 月
＜指導改善のポイント＞
「地図や地球儀、統計、年表など各種の資料から必要な情報を集めて的確に読み取り、課題をつくったり、課題を追究したりする指導」

■平成 28 年度 県学習状況調査の結果から

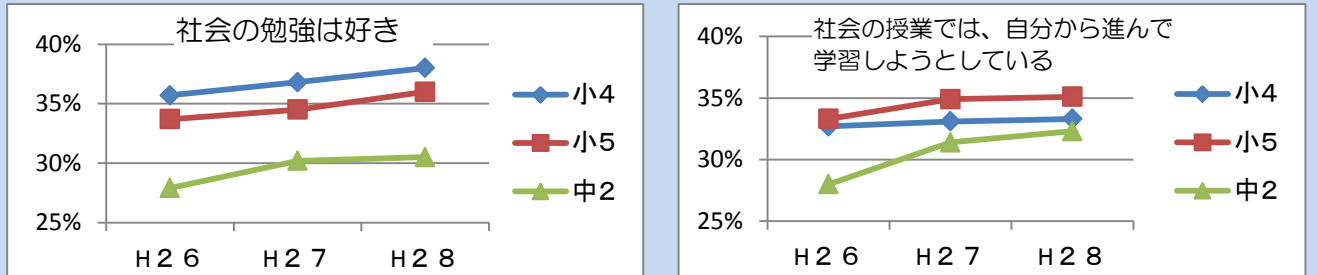
- ◆中学校第 2 学年
 - [1] 1 (1) 「中心からの距離と方位が正しい地図をもとにして、東京から見たニューヨークの方位を求めることができる。」
県 89.7% 自校 %
 - [3] 1 (1) 「時代区分のあらわし方を理解している。」
県 67.8% 自校 %
 - [3] 1 (2) 「各時代の政治の中心地の位置を地図から選ぶことができる。」
県 66.3% 自校 %

■過去の同一、類似問題の結果から

- ◆中・2 年 H27 県学調
 - [1] 1 (1) (上記 H28 [1] 1 (1) と類似) 県 79.6% 自校 %
 - [2] 1 (1) (上記 H28 [3] 1 (1) と同一) 県 64.9% 自校 %
 - [2] 1 (2) (上記 H28 [3] 1 (2) と同一) 県 63.2% 自校 %

「社会の勉強が好き」という児童生徒の割合が増えています。

【児童生徒質問紙調査（H26、27、28 県学調児童生徒質問紙調査回答との比較）】



社会 調査結果と指導の改善

地図や地球儀、統計、年表など各種の資料から、必要な情報を適切に集める・読み取る・まとめる技能を身に付ける指導を行っていますか。

調査結果 設問及び平均正答率

- ◆小学校4年生
 - 53 資料から、ごみ出しのルールを読み取ることができる。 県 55.9% 自校 _____ %
- ◆小学校5年生
 - 45 日本の主な輸出品の推移について読み取ることができる。 県 58.3% 自校 _____ %
- ◆中学校2年生
 - 11(3) アメリカで働くヒスパニックの業種別割合を表した帯グラフを読み取ることができる。 県 34.2% 自校 _____ %

■指導改善のポイント①

ア 発達の段階に応じた意図的な指導

教科書の「まなび方コーナー（小学校）」や「歴史（地理）スキル・アップ（中学校）」のページを効果的に活用しましょう。

＜例：教科書小5〔下〕（東京書籍）＞

◆グラフの読み方～帯グラフを読み取る～

- ・グラフのタイトルは何か。単位は何か。
- ・全体に見て、わりあいがいちばん多いのはどれか。
- ・増えているもの、減っているもの、変化がはげしいものはどれか。
- ・全体の数字はどのように変化しているか。 など

イ 教科間のつながりを踏まえた指導

- 〈国語科との関連（例）〉
- ・習った漢字を使って、用語を正しく書く。
 - ・インタビューの仕方や聞き取ったことのまとめ方を生かして、情報を集め、課題解決に向けてまとめる。
- 〈算数・数学科との関連（例）〉
- ・統計資料から、単位や比率を踏まえ、傾向や変化などを読み取る。
 - ・数値情報を基にグラフに表す。

「見届け」のポイント

＜課題に応じて必要な情報を集め、読み取ることができているかを見届ける。＞

- 「どの資料から考えようとしているか。」
- 「課題に即して読み取っているか。」
- 「図や写真・グラフなど着目した事実・事象から、（ただ数字や言葉を抜き出すのではなく）必要な情報を適切に取り出しているか。」

＜他教科で身に付けた力を活用しているかを見届ける。＞

- 「見学に行くときは、国語の『インタビューメモの書き方』を参考にしましょう。」
- 「国語の学習で行ったように、集めた情報を関係付けて考えてみましょう。」
- 「このグラフを読み取るためには、算数の『割合』の学習を思い出してみましょう。」

■習熟問題① ～この問題を活用して、定着状況を見届けましょう。～

- ◇小学校第4学年 進級おめでとう問題 2資料から、ごみ出しのルールを読み取る。
- ◇小学校第5学年 進級おめでとう問題 1「都道府県別の漁業生産額のわりあい」のグラフを読み取る。
- ◇中学校第2学年 進級おめでとう問題 2「日本と同緯度、同経度の範囲」の地図資料を活用する。

社会的な見方・考え方を働かせて追究することができるようにする指導を行っていますか。

調査結果 設問及び平均正答率

- ◆小学校4年生
 - 41 道具の移り変わりを理解している。 県 92.2% 自校 _____ %
- ◆小学校5年生
 - 21 主な海洋や大陸などから見た日本の位置を理解している。 県 72.2% 自校 _____ %
- ◆中学校2年生
 - 13(3) 日本の過疎地域・過密地域がどんなところに見られるかについて説明することができる。 県 70.1% 自校 _____ %
 - 32(2) 歴史の流れを考え、「人物カード」を時代の古い順に並べることができる。 県 58.6% 自校 _____ %

■指導改善のポイント②

○「社会的な見方・考え方」を働かせて追究する指導

【「社会的な見方・考え方」とは】

- ・深い学びを実現するための思考力や判断力の育成や生きて働く知識の習得に不可欠なものである。
- ・社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想したりする際の「視点や方法」である。

小学校 社会的事象の見方・考え方

社会的事象を、

- ①位置や空間的な広がり
- ②時期や時間の経過
- ③事象や人々の相互関係

に着目して捉え、

比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

◆①～③に着目させる問いの例

- ①なぜこの場所に集まっているのだろう。
- ②どのように変わってきたのだろう。
- ③なぜ〇〇と〇〇の協力が必要なのだろう。

『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について』（答申）（H28.12 中央教育審議会）補足資料 参照

「見届け」のポイント

＜「地理的な見方・考え方」を働かせているかを見届ける。＞

- ～「地域の事象を位置や空間的な広がりに着目して捉えているか」、「地域の特色について、他地域と比較、関連付けたり、変容に着目したりして捉えているか」を見届けましょう。～
- 「地図」や「地球儀」を手元に置き、位置や広がりを確認できるようにする。
- 「どこにあるのか」「どのようにあるのか」「他とどのような関係があるのか」などという見方・考え方で捉えている姿を価値付け、広める。

＜「歴史的な見方・考え方」を働かせているかを見届ける。＞

- ～「学習している時代や年代（世紀等）が確かになっているか」、「他の時代（今）との違いや変化を捉えているか」を見届けましょう。～
- 「年表」や「時代区分表」を常掲し、学習している時代や年代を明示し、意識させる。
- 他の時代（今）と比べて考察したり、「つまり～」と特色を捉えたりする姿を価値付け、広める。

■習熟問題② ～この問題を活用して、定着状況を見届けましょう。～

- ◇小学校第4学年 進級おめでとう問題 1地図から、仙台駅のまわりの様子を捉える。
- ◇小学校第5学年 進級おめでとう問題 2図から、沖縄県の伝統的な家の持ちょうを捉える。
- ◇中学校第2学年 進級おめでとう問題 1時代区分表に、歴史上の人物を位置付ける。